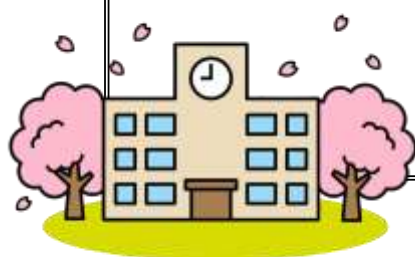


～ 自信と誇りを持って行動できる生徒の育成 ～
学び考える生徒 思いやりのある生徒 すすんで心身を鍛える生徒



滑中だより



令和8年4月9日発行 第1号 文責 校長 山崎 則枝

初心忘るべからず

さまざまな花が咲きそろそろ希望に満ちた春、189名の新入生を迎え、生徒数589名、職員数59名で滑川中学校の令和8年度がスタートしました。新入生の皆さん入学おめでとうございます。そして、2・3年生の皆さん進級おめでとうございます。

冒頭の『初心忘るべからず』とは、室町時代の能の大家・世阿弥^{ぜあみ}の言葉です。この言葉の意味は、単に「謙虚さを忘れない」というだけではありません。

世阿弥は「1.是非とも初心忘るべからず(うまくいった時が【是】 いかない時が【非】)」
「2.時々の初心忘るべからず」「3.老後の初心忘るべからず」の3段階を説き、「芸の向上を測る物差しとして、初心を忘れてはいけない」と言っています。それは、自分の成長を図るためにも、若い頃にいかに自分ができなかったか、下手だったかを忘れずにいるべきだということ、そして、常にその時の「新鮮さ」を持ち続けることが大切だということです。

皆さんも中学校入学当時、慣れない中学校生活に戸惑いながらも新しいことに積極的に挑戦していたでしょう。しかし、慣れてくると、そこまでどれほど大変だったか、頑張ったかを忘れていまいがちです。入学当時の大変さや失敗をどのように乗り越えたのか、その経験を忘れないようにしておけば、次に困難なことがあってもその経験が生かされます。さらに、入学当時は緊張感を持って色んなことに取り組んでいたのに、慣れてくると「ああ、これはもう知ってるから。やったことがあるから。」と、あまり考えずに取り組んでいませんか。でも、クラスが変わったり、後輩が入ってきたり、常に状況は変わっています。立場や周囲の環境が変われば、改めて考えなければならないことや初めて経験することがあります。その時々それぞれの「初心」があるのです。そのことに気づかずにぼんやりと生活していると、その経験は身についていきません。常にステップアップしていこう、チャレンジしていこうと積極的に思わなければ、いつまでも「初心」という感覚を持ち続けるのは難しいことです。自分で「もうこれでいいや。」と終わりを決めてしまっは、そこで成長は止まってしまいます。

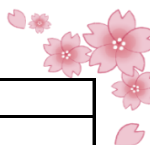
このことは3年間という長い期間だけでなく、学期ごとあるいは月ごとに考えることもできるでしょう。つまり、大事なことはマンネリ化しない、ということです。一流とか天才とか言われている人は、同じことを何年やっても、いつも楽しそうにやっています。それは、常に、自分の中に新鮮な気持ちを湧き起こすことが出来ているからです。

皆さんも自分の「初心」を事あるごとに意識してみる癖をつけ、自分の中に新鮮な気持ちを湧き起こす回路を身につけ、今年度も充実した1年にしていきましょう。

令和8年度【始業式のことば】より



【 4月の予定 】



8	水	入学式・始業式
9	木	短縮・教科書配布・あいさつ運動
10	金	給食開始・全校集会・3年身体計測
11	土	
12	日	
13	月	2年身体計測・写真撮影・避難訓練・委員会
14	火	1年身体計測・生徒集会（団抽選）
15	水	部活動オリエンテーション・ふれあい弁当
16	木	時間割A開始・1年心電図検査
17	金	1年交通安全指導
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	人権学習
22	水	歯科健診
23	木	3年全国学テ（国語・数学・英語）・学級の日
24	金	
25	土	授業公開（月曜日課①～③+特活）・学級懇談会
26	日	
27	月	振替休業日（4/25）
28	火	3年全国学テ（英語スピーキング・質問紙）・3年眼科検診
29	水	昭和の日
30	木	情報リテラシー教室

【すぐーるの活用について】

学校を欠席したり遅刻・早退したりする場合には、8：15までに「すぐーる」にて連絡をお願いいたします。

また、今年度より「滑中だより」「学年だより」につきましては、「すぐーる」にて配信させていただきます。紙面による配布は行いませんのでよろしくお願いいたします。尚、学校行事やPTA活動に関する通知等も昨年度に引き続き「すぐーる」での配信のみとさせていただきます。